

日枝小学校への環境出前授業



フィールドに出ると、子どもたちの好奇心はすでに全開状態。ザブザブと水の中に入って行き、エビやカニを捕まえてきます。男の子だけかと思えば、女の子も上手にカニを捕まえてきていて、あっという間に教室はカニの博覧会会場になってしまいました。



アクアパークは潮の満ち引きの影響も受け、大岡川と中村川から海のゴミが逆流してきたり、上流から流れ着いたりします。この日もそこそこの量のゴミが獲れました。

すでに6月5日に教室で大岡川の環境とゴミについての環境出前授業で座学を終えた横浜市立日枝小学校4年2組。翌週の12日には、学校からほど近い蒔田公園内にあるアクアパークに生き物観察に出かけました。アクアパークは、神奈川県横浜・川崎治水事務所が管理していて、治水事務所から許可をもらい、鍵も借りて中へ。

「まずはみんなでゴミ拾いをして、アクアパークをキレイにしましょう!」という担任の渡邊先生の掛け声とともに、子どもたちはゴミ拾いを開始。あっという間に空き缶、ペットボトル、発泡スチロールの箱、レジ袋などが集まります。拾ったゴミを全て学校へ持ち帰って検量すると、プラスチックゴミ1.2kg、空き缶0.25kg、ペットボトル0.3kgでした。

カニをたくさん捕まえました

子どもたちはやはり水遊びが好きです。水に入れる準備をしてきていて、救命胴衣を着用した子どもたちは、腰のあたりまで平気で水の中に入っていきます。手には網を持ち、男の子も女の子も。

「うわあ、大きなコイが泳いでた・・・」

「汽水域は海水と淡水が混じるところだから、淡水魚のコイがいたり、海の生き物の両方がいる



聖手をすれば、ちょっとぐらいカニに挟まれても大丈夫。こんな子どもたちの臍白さこそが、今地球が抱える環境問題を快方に向かわせるキーワードなのではないでしょうか?



組石の間に潜むカニを見つけると、みんなで協力してカニをおびき出して捕まえます。

んですね・・・」

子どもたちに何かを教えるのには、やはり現場が一番です。

子どもたちは、いろいろな生き物を捕まえてきます。ペンケイガニの仲間、イソガニの仲間、外来種のチュウカイミドリガニ(詳しくは3ページ)、スジエビの仲間などが獲れました。今年度後半の子どもたちの発表が今から楽しみです。



授業は、教室に設備されている50インチほどの大きなモニターに映像を映し出して進めて行きます。子どもたちは好奇心に溢れ、モニターに大写しになった写真を見つめます。写真は、雄弁に子どもたちへメッセージを語りかけてくれます。撮影:中城早貴(6年1組担任)

瀬谷第二小学校への環境出前授業

「この写真は、湘南海岸に打ち上げられたアオウミガメのお腹の中から出てきたプラスチック袋、みんながビニール袋と呼んでいるものの破片です。こんなにたくさんお腹の中にあつたら、きっとこのカメも辛かったでしょうね・・・」

子どもたちは一瞬目を輝かせたものの、次の瞬間、ウミガメの無念さなのか、野生動物に対する配慮のない行為に憤りを感じたのか、みんな無口になりました。そう、ここは横浜市瀬谷区、もうす

ぐその先が大和市になる瀬谷第二小学校6年1組の教室内。

6月13日の午前中のことです。まだあまり使ったことのないFaceTimeに電話がかかって来ました。どうしたらいいのかよくわからないまま慌てて携帯を取り上げると、画面には小学生の男の子と女の子の顔が見えます。一瞬の沈黙の後。「こんにちは、ボクたちは・・・」と自己紹介があった後、何と子どもたちから直接、環境出前授業の依頼を受けました。

内容は、海のプラスチックゴミについてと、SDGsについての授業をやってほしいという話。翌週の6月18日に実施するというので決まり、実施してきたのです。

次は、7月中旬にクラス全員で湘南茅ヶ崎海岸に行き、マイクロプラスチックの粒子を採取してきます。マイクロプラスチックの実物を目の前にして、今後、担任の中城先生と連携しながら、マイクロプラスチックについて子どもたちと一緒に考え、行動していきます。

日枝小5年生たちの活躍!



私たちが見過ごしてしまいがちな植え込みの中までゴミを探します。ゴミ拾いに対する熱意は、子どもたちの方がはるかに強いかもしれません。撮影:道下勝基

昨年度、4年3組の子どもたちは、当NPOの主催する大岡川PGT大作戦に毎回参加し、特にプラスチックゴミについて大いに関心を抱き、給食の牛乳をストローを使わないで飲む運動までに発展。さらにはストローを使わないでも飲める牛乳パックの開発にまで関与し世

の中にセンセーションを起こしました。

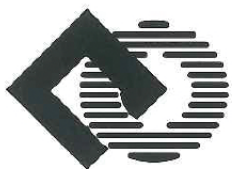
普通はそれで学年が終われば終わりです。しかし、4年3組の多くの子どもたちは、5年生になって3つのクラスに分かれたにも関わらず、各クラスで有志を集い、今年度のPGT大作戦

にも毎回参加してくれています。しかも義務感ではなく、毎回楽しそうに自主的に参加してくれているので、主催者側も嬉しくなっています。

そこで、私たちも子どもたちがSUPに乗ってゴミ拾いができるように、当NPOと横浜SUP倶楽部との協働で、8月に5年生対象の無料SUP教室を開くことにしました。ぜひSUPでゴミ拾いができるようになってもらいたいと思います。



ゴミの検量の際に電卓で計算してくれたり、もうスタッフの一員です。撮影:道下勝基



吉田興産グループ
横浜市中央区長者町9丁目175番地 TEL045-251-4545

総合建設業

株式会社 キクシマ
www.kikushima.co.jp

注文住宅建築・集合住宅建築・教育施設建築・福祉施設建築・商業施設建築
耐震補強工事・リフォーム・リノベーション・鉄骨製作工事
☎ 0120-96-6663 本社:横浜市港南区港南台 4-39-7



横濱 いせぶら パウンド
YOKOHAMA ISEBURA POUND

合名会社川本屋商店
横浜市中区伊勢佐木町 6-146 ☎045-261-7652